

2025

1

No.226

いな 市報INA



未来を織りなす 創造と循環のまち 伊那市



大人気！7年目の冬の風物詩

12月7日(土)に道の駅 南アルプスむら長谷で「Hase Xmas (長谷クリスマス)2024」が開催されました。高さ10メートルを超えるモミの木に約4千個のLEDライトが輝き、幻想的なイルミネーションです。ツリーは1月13日(月・祝)まで点灯される予定です。

今月の特集

P1 新年のごあいさつ

P3 子どもと一緒にどこに遊びに行きますか

P5 一緒に消防団活動しませんか

P6 私たち、伊那市赤十字奉仕団です

P18:文化施設だより・P26:公民館報いな

P30:議会だより・P31:社協報ふくし伊那



ジュニアオリンピックカップU16陸上 優勝報告

市役所

持ち前の明るさで圧巻の投てき 11/14 木

10月18日(金)～20(日)に三重県で開催された、JOCジュニアオリンピックカップ 第55回U16陸上競技大会の女子ジャベリックスローに出場した東部中学校2年 向山和果さんが、白鳥市長に優勝を報告しました。強い向かい風が吹く悪条件でしたが、試技3回終了時点で48m92を記録して1位となり、上位8人による3回の試技で49m63と記録を伸ばし優勝を飾りました。



『たべる』と『つくる』を近づけるツアーin伊那谷

市内

憧れの暮らしをリアルに体験 11/23 土・祝

「生きるために『たべること』と、自分の体で『つくること』を少し近づける」をテーマに、自然や農ある暮らしをしたい方、伊那市への移住に興味がある方を対象とした体験ツアーを開催しました。参加者は薪割りや雑穀を使ったお昼ご飯づくり、先輩移住者の話などを通して、自然や農ある暮らしを体験し、暮らし方を想像するきっかけになりました。



図書館まつり

伊那図書館

いつもの図書館がさらに身近に 11/23 土・祝

伊那図書館の開館30周年を記念して、楽しい企画が盛りだくさんの「図書館まつり」を開催しました。お手持ちの本の表紙をビニールカバーでコーティングする装備サービスや、図書館で借りた本を入れるバッグにアイロンプリントをする図書バッグ作りなど、図書館利用者に嬉しい企画となりました。また、音楽バンド「NEMO(ネモ)」のライブで会場は大盛り上がりでした。



第24回abn・八十二ふるさとCM大賞NAGANO

ホクト文化ホール(長野市)

発見!伊那谷の伝統食

12/1 日

県内の市町村が30秒のCMで「ふるさとの魅力」をPRする「ふるさとCM大賞NAGANO」で、高遠中学校 珍味三兄弟チームが制作した伊那市の昆虫食を紹介した作品が一次審査を通過し、ホクト文化ホールで行われた最終審査会に出場しました。壇上で最後のPRタイムがあり、生徒たちは寸劇を披露するなど奮闘しました。当日の様子は1月3日(金)にテレビ放送される予定です。

組合員・地域のみなさまへ (株)グレースはJA上伊那の協同会社です。

葬儀・法事のこともならグレースへ。

事前相談
随時受付中
9:00~16:00



ふれあい・語らい・地域と共に
株式会社グレース
GRACE CO., LTD.
本社：伊那市東春近車屋207 https://grace-ja.com/

病院・施設へのお迎え、葬儀打ち合わせは 24時間365日受付
0120-88-1409

虹のホール伊那・花桃
伊那市東春近車屋207
通夜安置室あり

虹のホール 高遠
伊那市高遠町小原736-1
通夜安置室あり

虹のホール 竜西
南箕輪村神子柴8743-1
通夜安置室あり

1月の納税

市県民税…4期、国民健康保険税…8期 [1月31日(金)が納期限です。]
市税の納付は、納め忘れのない「口座振替」が便利です。

伊那市の総人口
64,912人
【世帯：28,720世帯】
※令和6年12月1日現在

あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新しいまちづくり

長野県が進めている高校再編をひとつの契機として、伊那市の新しいまちづくりがスタートしました。昨年9月に発足した「官民共創の新しいまちづくり協議会」では、伊那北駅周辺の再生整備、伊那弥生ヶ丘高校の将来活用、伊那市駅から伊那北駅に加え、竜東地域を含めた市街地エリアのまちづくりの検討が始まっています。今年は、若者や地元企業・商店街など、多様な皆さまとの対話や繋がりを深めながら、具体的な事業に結び付けていく大切な年になります。人々が集い、快適で豊かに暮らせる新しいまちづくりを、市民の皆さまと共に進めてまいります。

の整備効果を大きなものとするため、国道153号伊那バイパス・伊駒アルプスロード・環状北線の整備、国道152号の改良事業などを着実に推進します。また、近年多発する豪雨災害への対応も急務となっています。天竜川流域に暮らす全ての人の生命や財産を守るため、流域が一体となつて「戸草ダム」の建設再開に向けた積極的な働きかけを行い、災害に強い地域づくりを進めてまいります。

漏れのない福祉、 一気通貫の子育て・ 教育支援

コロナ禍を乗り越え、以前の日常が戻ってきたものの、長引く物価の高騰が私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。伊那市では、物価高騰対策や経済対策として、子育て世帯、高齢者世帯、農家の皆さまなどへの支援を幅広く実施してまいりました。これからも支援を必要とする全ての方に光を届けるべく、漏れのない福祉を推進してまいります。

境を求め、移住する方が増加する中、子育て支援や教育に特色のある伊那市は、全国から注目されています。市では、本年4月に「こども部」を新設し、これまでに以上に子育てから教育まで一気通貫の支援を実現します。さらに、教育先進国であるフィンランドとの連携を通じ、生きる力を育む教育の実践にも注力したいと考えています。教育、子育てをはじめとする伊那市の魅力を一層高め、積極的に発信し、関係人口の増加や移住定住促進にもつなげてまいります。

「食・水」・ 「エネルギー」を自給する 持続可能な地方都市

伊那市は一次産業を中心に据え、その上で各種産業が発展し、「食」・「水」・「エネルギー」を自ら賄う持続可能な地方都市を目指して、引き続き「伊那から減らそうCO₂!!」や「50年の森林（もり）ビジョン」などの取り組みを推進してまいります。環境意識の高まりとともにペレットストーブやペレットボイラーが普及し、燃料となる木質ペレットの需

要が全国的に高まっています。現在、国の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、ペレットの増産に向けた施設整備を進めています。設備の稼働に必要な電力も自前の木質バイオマス発電で自給する、循環型の施設が今年稼働する予定です。

地域を取り巻く環境は、大きく変わろうとしています。こうした時代の変化を捉えながら、市民の皆さまと一緒に「伊那に生きる、ここに暮らし続ける」というビジョンを実感できる市政を推進してまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

時代に变化を捉えた、
官民共創の新しいまちづくり

伊那市長 白鳥 孝

あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍を乗り越えて生活様式が見直され、行事や会議の開催方法などは、新しいスタイルによる活動が始まっています。

「チーム議会」が 「市民の身近な存在」 として

議員は市民の代表者であり、常に市民の皆さまの声を意識して活動や行動を取らなければなりません。そして、議会が一丸となつて行動することによって、大きな力を発揮することが可能となります。「チーム議会」が「市民の身近な存在」として期待に応えられるよう取り組んでまいります。

昨年7月には、市内6会場で「市民と議会との意見交換会」を開催し、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。また、福祉、教育、産業などの市政に関するテーマについては、主任児童委

員会、不登校児童生徒の支援をするNPO法人、買物弱者を支援する事業者、そして商工団体の方々と懇談会を実施しました。意見として出された重要課題については「政策提言」に結び付けていきます。

市民（議会政策） サポーター制度導入

「市民参加の機会の増強」や「議会機能の強化」などを研究する中、意見聴取方法の一つとして昨年から市民サポーター制度を導入しました。政策提言に向けた調査や議案審査の際に参考意見をお聞きするほか、市議会の各委員会が必要とする時に意見を述べていただくなど、多様な民意を市政に反映させることを目的としています。公募によりサポーターを募集したところ、30代から80代までの8人に市民サポーターを委嘱させていただきました。委員会などへ参加していただいています。

今後もし引き続き、市民サポーターになつていただく方を募集し

ていきますので市民の皆さまの積極的な参加をお願いします。

二つの特別委員会の 設置

現在、伊那市を取り巻く状況や環境を鑑みた時、直近の重要テーマとして2つの特別委員会を設置しました。

①「人口減少対策特別委員会」

伊那市の人口は平成7年をピークに緩やかに減少に転じています。今後10年先、20年先の人口はどうなるのでしょうか。人口減少を最小限に食い止めるにはどうすれば良いのか。その基軸は「地域の産業創生」とそれにリンクした「移住定住施策」、そして進学などで伊那市から離れた20歳代の若者を、再び伊那市に呼び戻すための施策を身近な課題として調査、研究し、政策提言に結び付けたいと思います。

②「まちづくり課題検討特別委員会」

高校再編による伊那北駅周辺の整備、伊那弥生ヶ丘高校の将来活用、また伊那市駅から伊那

北駅間の新たなまちづくりなど、大きな期待と夢のあるテーマがあります。しかし、今後、人口減少や少子高齢化社会が進む中では、冷静に先を見据えたまちづくりが重要と考えます。特に、議会の立場から全体を俯瞰しながらしっかりとした考えを持ち、道筋を立てることが重要と考えます。

今後も「市民の信頼と期待に応えられる活力ある議会」を目指し努めてまいりますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が穏やかな一年であることを願うとともに、市民の皆さまのご多幸とご清栄を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

市民の声を政策に
信頼と期待に応える議会を目指し

伊那市議会議長 田畑 正敏

子どもと一緒に どこに遊びに行きますか？



問 子育て支援課 子育て支援係

バリアフリーで、
小さい子でも
遊べる道具がいい



絵本がたくさん
あるし、
ハイハイしたり
おもちゃで遊べる
ところもある



広くて
おもちゃが
たくさんある



授乳室があって
飲食可能で
おもちゃも
いっぱいある



広いお部屋で、
保育士さんも親切で
お友達もたくさんで
刺激になる



同世代の子どもと
一緒に遊べて、
お母さんとも
お話できる



ローラーの
すべり台が好き



好きな先生がいて
一緒に遊んで
もらえる



動物もいて、
レストランも
公園もあって
一日楽しめる



子育て世代の皆さんは、「小さい子どもを連れてどこに遊びに行こうか？」と悩んでいる方も多いと思います。今回は、子育てをしている皆さんから、「子どもと一緒に行くのにおススメの場所」を聞いてみました。気になった場所があったらぜひお出掛けしてみてくださいね。遊び場のレパートリーが増えれば幸いです。

伊那市の遊び場事情

自然豊かで空気がおいしい伊那市。外でのびのび遊べる公園が各地にあります。新しくなった遊具も楽しいです。

伊那図書館や高遠町図書館をはじめ、各地区の公民館の中に図書室が併設されています。絵本も充実しているので、図書館にいる時間とても楽しいですよ。ぜひいろいろな本に触れて、たくさん読み聞かせしてあげてください。また、司書の方とお話するのも図書館に行く目的になります。お話し会などイベントもたくさんあります。

子育て支援センターは市内に5カ所あります。就学前のお子さんを対象に、親子で楽しく遊べるふれあいの場所です。楽しい講座でリフレッシュしたり、遊びながら気軽に話したり、育児の相談もできます。事前の申し込みや予約は必要なく、お子さんの生活リズムに合わせて利用できます。



子育て支援センター





そのた なぎさ しゅう
園田 渚さん・柊くん

普段は商店街を散歩して、こんなところにこんなお店があったんだと発見もあったりして、寄って何か買ったりしています。子どもができてからそういう新しい楽しみもできたなと感じています。

同じ年の子どもを持つ職場の先輩が、月に2回のワイルドツリーのベビーマッサージに誘ってくれたのがきっかけで、一緒に行っています。ゆったりとしたスペースで助産師さんがマッサージの仕方を教えてくれます。生後3カ月頃からはじめ、あまり寝ない子だったのですが、オイルを手になつぱり塗って、マッサージをすると血行が良くなり、夜中もよく寝てくれるようになりました。そこではママ友もでき、講座の後にランチを一緒に食べながら交流を深めています。

伊那市には子育て支援センターのような公共施設もあるし、民間のおしゃれなお店もあるので気軽に行ける気がするし、その後の楽しみもあってとても助かっています。



普段、午前中は子育て支援センターや公園に遊びに行ったり、買い物や友達とご飯を食べに行ったりしています。特によく行くのが西箕輪子育て支援センターで、先生も優しいし、室内もきれいだし、広さもちょうどよく、いろんなおもちゃも、すべり台もあって楽しいです。午前11時から読み聞かせや体操の時間で、ポンポン体操などみんなで一緒にできるところがいいですね。それを家でも真似しています。一緒になったお母さんたちと話ができるのもいいです。

子育て支援センターは外に遊びに行けない雨の日や冬場や真夏などでも行ける場所。子どもも今は歩けるようになりましたが、ハイハイの時などはなかなか外で遊びづらかったのですが、そういう時期にも室内ならハイハイし

たりおもちゃで遊べたりしました。

また、少し変わったお気に入りの場所は、伊那市駅前トイレの展望台です。午後のお昼寝の後に掛けて、そこから電車を見えています。近くにバスターミナルもあるので、乗り物好きな子どもにとっては、電車も踏切もバスも見られるのでおすすめです。



きたはら ありさ ほたか
北原 有利沙さん・帆高くん

子育て情報Q&A

Q 伊那市の子育て情報を知りたいのですがどうしたらよいですか？

A その①子育てガイドブック「いなしでこそだて」の冊子を毎年発行しています。各公民館、市民サービスコーナー、子育て支援課、各子育て支援センターで配布しています。HPからもガイドブックの内容が確認できます。

その②メールやLINEで子育て情報、子育てイベント情報が入手できます。LINEからは産前学級やファミリーサポートの申し込みが電子申請できます。



子育てガイドブック

その③子どもの物を譲って欲しい・譲りたい時はどうすればいいですか？

A リサイクル会を子育て支援センターで年に3回、チャイルドシート交換会を市役所で年1回行っています。

「こころむすび」では、ベビーベッドやベビバスなど子ども用品などのゆずりあい、子ども用紙おむつのシェアリングエコノミーサービスを利用できます。

「こころむすび」では、ベビーベッドやベビバスなど子ども用品などのゆずりあい、子ども用紙おむつのシェアリングエコノミーサービスを利用できます。



こころむすび

一緒に消防団活動 しませんか？

問 危機管理課 消防係

消防団の歴史は古く、江戸時代に設置された町火消が消防団の前身であるといわれています。以降、時代の流れとともにさまざまな変遷を経ながらも「自らの地域は自ら守る」という精神にもとづき現在に至っています。災害の激甚化・頻発化が懸念される今、消防団は消火活動のみならず、地震や風水害などの大規模災害時には、救助救出活動や避難誘導をはじめとする非常に重要な役割を期待されています。

伊那市消防団では、団員の負担軽減や組織の持続可能性につながる取り組みなど、変化を取り入れながら活動をしています。

皆さんもぜひ一緒に活動しませんか？

団長インタビュー

本年度から新たに就任した駒井団長にインタビューし、消防団に対する思いを語っていただきました。

Q1 就任にあたって

市民の皆さまには日頃から消防団活動に対し、格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たち消防団員は「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に活動しています。昨今は災害の様子も変化しており、私たちの活動範囲も多岐にわたっています。特に防災の分野における活動が今まで以上に重要となることを感じています。これまでの消防団で培ってきた経験を今後の活動に生かし、地域と一緒に、この素晴らしい消防団を盛り上げていきたいと思えます！

Q2 消防団の魅力を教えてください

消防団は団員が地元住民ですから、「地元愛」とガッツに溢れた集団です！職業や年齢を越えて、普段なら知り合うことのない大切な仲間ができ、地域とのつながりや郷土愛の思いも深くなります。

また、消防団で学ぶ災害対応などの高度な技術と知識は、普

段の生活でも役に立つものばかりです。

Q3 どのような取り組みを目指していますか？

地域防災の中核を担う消防団は、いざ災害となるとその活動は多岐にわたります。昔も今も変わらない基礎訓練はもちろんですが、新たな訓練にも取り組むことで対応力を高めていきます。

そして、これからは地域との協力関係も一層重要と感じています。地域で行う行事にも積極的に参加し、お互いの顔が見える関係を今以上に築いていくことが大切です。消防団活動を知っていたく機会として、伊那市出初式にあわせて行う消防フェスタや音楽隊による演奏会に加え、これからは保育園や小中学校で行われる避難訓練などに参加することで、子どもたち

伊那市消防団 団長
こまい ひろあき
駒井 啓晃さん

にも消防団をPRしていきたいと考えています。

Q4 団長からのメッセージ

消防団は一緒に活動いただける皆さんの力を欲しています。地域のため、そして大切な家族の安心・安全のため、今、あなたの力が必要です。皆さんの入団をお待ちしています！

消防団員の入団資格は、伊那市内に居住・通勤・通学する18歳以上の方で、性別は問いません。申し込みは、同じ地域の団員、または消防団本部(危機管理課消防係)まで。

市公式HP





私たち、伊那市赤十字奉仕団です

伊那市赤十字奉仕団は、全13分団345人で地域の身近なボランティアとして、災害時に備え、炊出しの訓練や、救急法の基礎知識として心肺蘇生やAEDの使い方などを講習しています。いざという時、自分や家族を守るため、また、地域の支えとなるようニーズに応じた奉仕活動を各地域で行っています！



問 社会福祉課 総務係

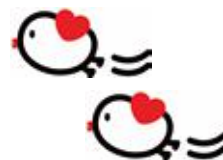
赤十字奉仕団の主な活動

春季訓練

毎年全分団の役員を対象に、自分が住んでいる地域のリスクを知り、身を守るための備えや、いざという時に役立つ一時救命措置等を学び、知識を深めています。

団員は、各地区から選任され、多くの地区は1年任期で交代していきます。毎年新しい人が春季訓練等で災害時の備えや救命措置を学ぶことで、自分が住む地域に同じ知識を持つ仲間が増え続けることをねらいとし、活動を続けています。

伊那市内の団員が集まり、訓練を受けることで、士気が高まります！



分団ごとの訓練

市内13分団ごと、自分たちの地域に必要な訓練を計画し、実施しています。



三角巾を使った止血法



毛布による保温法

その他の活動



出初式での分列行進



防災教育グッズを使った机上訓練など

～防災グッズ紹介～ 災害救護用の炊飯袋

袋にお水と同じ量のお米を入れてお湯で茹でるとごはんができます。袋は手で割け、食器を使わずに食べられます。また、お水の分量を加減することで、小さなお子さんからお年寄りまで、ニーズに合った硬さで作ることが出来ます。ごはん以外も、蒸しパンや麺類などレパートリーもたくさんあります！

水を節約

お湯は繰り返し使え、節水にもつながります。

調理が簡単

袋に材料を入れ、30分ほど茹でるだけ！一度にたくさんできます。



熱に強い

耐熱性が高く丈夫な素材のためそのまま茹でられます。

衛生的

袋のまま配ることができ、持ち運びも簡単に衛生面でも安心です。

伊那市赤十字奉仕団は、赤十字の基本理念のもと、日常生活の中で地域に根ざしたお互いの助け合い活動をこれからも展開していきます。

無理なく、楽しく、できるときに、できることをする。
皆さんも、ぜひ地域で活躍してみませんか！！



人間を救うのは、人間だ。Our World. Your move.